

WEEKLY REPORT

難航を極めるスポンサー選定

親密な仕入れ先と交渉開始(月に10日間地方出張)
 →安く買いたいスポンサー候補
 →前期の成績が悪すぎる
 専門のM&A仲介会社や銀行へも依頼
 決まったかと思うと逃げられる(2018年8月)
 信用不安が広がり、次第に売上げが細くなって利益が薄くなる。
 仕入れ先も、ついに1社のみとなる。
 もう駄目かと思ったところへ、突如、有力候補が出現



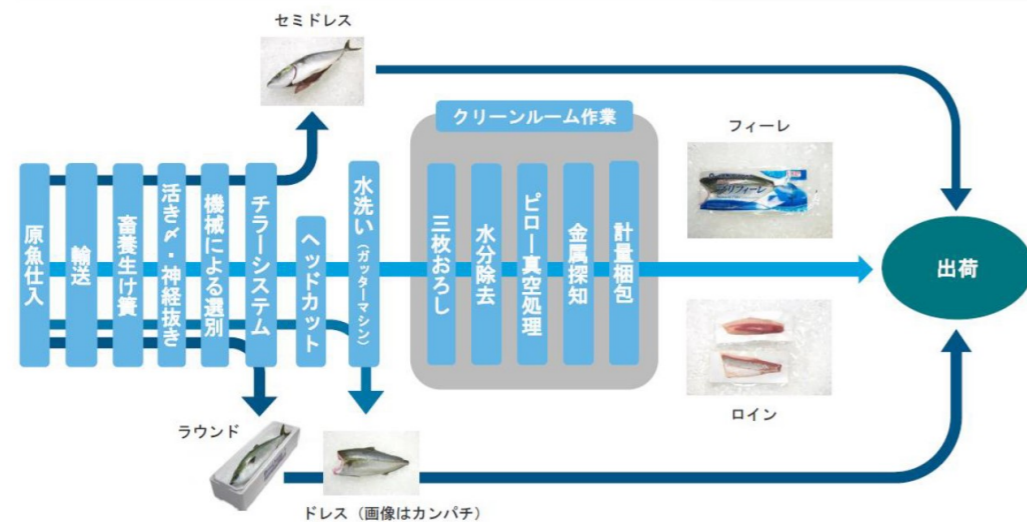
スポンサー契約

意向表明書 2018年11月27日
 DD開始
 北米取引が始まるが、多額の仕入れ債務を滞納しており、北米用の大型の魚は、もはや単独の信用はなく仕入れ不能
 ↓
 スポンサー契約締結前に、スポンサー候補が仕入の帳合いに入る交渉
 ついに北米取引開始
 →ところが、大口の北米取引先から取引を断られる(2019年1月)。
 →スポンサー候補が撤退を検討(2019年2月)
 EUもなかなか輸出を再開できない→再開は6月にずれ込み
 2019年7月1日 無事にクロージング

<卓話資料>

ANDERSON MÖRI & TOMOTSUNE

作業工程



2

<本日のニコニコ発表>

大川高明会長

本日で大川高明・柳年度も前半戦が終了します。
 いろいろとありましたが、会員の皆様のご協力によりなんとか本日を迎えることができました。
 ありがとうございました。

社会奉仕基金 2,622円 《会報編集委員》野澤新之助・鈴木悦朗・小林辰幸・関征啓

Rotary  2019-2020年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ 松戸北ロータリークラブ会報



「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第2280回例会 2019年12月25日(水)

- 国際ロータリー会長 M・ダニエル・マローニー
- 例会日 - 毎週水曜日12:30より (第1例会18:30)
- 第2790地区ガバナー 諸岡 靖彦
- 例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」
- 第13Gアシスタントガバナー 森谷 博
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 カンライズハイツ101
- 松戸北ロータリークラブ会長 大川 高明
- TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- 松戸北ロータリークラブ幹事 柳 孝実
- Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

WEEKLY REPORT

<2280回 例会プログラム>

12:30 点鐘 ロータリーソング斉唱 【♪我等の生業】	大川高明会長
12:33 お客様紹介	三村藤明会長エレクト
12:35 会食	
13:00 例会再開 会長挨拶:報告 幹事報告	大川高明会長 柳 孝実幹事
13:05 社会奉仕委員会より	野澤新之助委員
13:25 【委員会報告】 ■社会奉仕委員会 本日の社会奉仕基金発表 ■ニコニコ委員会	小澤直之委員長 吉田俊一委員
13:30 点鐘	大川高明会長

<会長挨拶・報告>

本日は前半最後の例会です。7月から23回目の例会になります。いろいろありましたが皆様のご協力により本日を迎えることができました。ありがとうございました。後半もよろしく願い致します。

皆さんは「日本は、貧困国ですか」と聞かれたら普通は違いますと答えますよね。「貧困」と聞いて大勢の人がイメージするのは、アフリカの貧困国のように、極端に背が低くガリガリに痩せ細った子どもたちの姿かもしれません。しかしGDP規模が米国、中国に次ぐ第3位の日本において、そのような光景を目の当たりにすればそれは「事件」です。

そうした貧困は「絶対的貧困」と呼ばれ、世界銀行では「1日1.90米ドル(約200円)未満で生活する人々」と定義されていて2015年には全世界で約7.36億人いると試算されているようです。

貧困にはもう1種類、「相対的貧困」と呼ばれる指標があり、その国の文化・生活水準と比較して困窮した状態を指し、具体的には「世帯の所得がその国の等価可処分所得の中央値の半分に満たない人々」と定義されているそうです。

日本の相対的貧困率は、2012年は16.1%、2016年は15.7%もあり約6人に1人は「相対的貧困」になるようです。日米欧主要7カ国(G7)のうち、日本は米国に次いで2番目に高い比率になっているそうです。

相対的貧困とは、あくまで相対的なものであり、概念であり、目で見えにくい。だからこそあまり注目を集めず、今も苦しんでいる人たちがいます。

国立社会保障・人口問題研究所が2017年7月に実施した調査によれば、「ひとり親世帯」の約36%が食料の困窮経験について「あった」と回答しているそうです。

「相対的貧困層」は若者、老人、ひとり親の家庭に多いという結果から、主に10代後半～20代前半の若者と70代以上の高齢者の相対的貧困率が高いとそうです。70代後半の女性の4人に1人が相対的貧困というのは、なかなか衝撃的な結果です。

また母子・父子家庭を意味する「ひとり親と未婚子のみ」の相対的貧困率が他世帯構造と比べて高く、その家庭で暮らす子どもも「相対的貧困」に含まれます。

子どもの貧困率は「2016年国民生活基礎調査」によると13.9%、実に7人に1人の子どもが貧困だと分かりました。ひとり親の場合、貧困率は50%を超えます。

10代後半～20代前半の若者、70代以上の老人、そして母子・父子家庭(子ども含む)。この3つの層に、相対的貧困が多いようです。

この現状をなくすことは今のロータリーでも難しいと思いますが困っている子供たちには何かできればと思います。今後、皆さんと話し合い具体的な行動に移せればよいなとこの記事を読んで思いました

WEEKLY REPORT

<幹事報告>

- 松戸東ロータリークラブ 例会臨時変更
2019年12月20日(金) クリスマスチャリティ家族例会に変更
場所 ホテル ザ・マンハッタン 点鐘:18時
- 2019年12月27日(金) 定款第7条第1節により休会
- 2020年 1月3 日(金) 定款第7条第1節により休会



<次年度に向けて> 三村藤明会長エレクト

はじめに 私を苦しめたある案件についての報告

2015年(平成27年)8月中旬。今月末の2億円の手形が落とせないとの相談
すぐに、手形所持人であるC飼料の部長にアポ取り→ジャンプの依頼
中小企業再生支援機構に相談→銀行の支払いの一時停止通知
バンク・ミーティング開催 3年間の暫定リスケ依頼

自主再建案の作成と過程

強みを伸ばす

- ①北米への輸出の増大
- ②EUへの輸出の増大
- ③国内取引は利益率の確保に努める
- ④不採算店舗の撤退

3年間の暫定リスケの1年目(2016年)は大成功

2年目(2017年)は、主に、浜値(魚の仕入れ値)の高騰により減益

自主再建を断念→スポンサー企業の選定へ

3年目(2018年)は、肝心の海外取引がトラブル

- ①パッキの真空漏れ(2月～3月)
- ②EU出荷停止(3月)
- ③盗難→一気に資金繰りが悪化→

自主再建を断念し、急遽、スポンサー会社を探索(2018年3月～)

その足で、親密仕入れ先に足を運ぶ

即日、3000万円の借り入れ

M&Aの過程

- ①ティーザー(ノンネームシート)の配布
(ロングリスト→ショートリストの作成)
- ②秘密保持契約(CA/NDA)
- ③ IP(インフォメーション・パッケージ)又の交付(IMともいう・インフォメーション・メモランダム)+入札スケジュール
- ④DD(デューデリジェンス)→財務DD、法務DD、事業DD
- ⑤基本合意書締結
- ⑥スポンサー契約締結
- ⑦クロージング



■12月 家族月間 (Family Month)■

1995-96年ハーバート・ブラウン会長は、世界平和は地域、家族から始まるとの考えを表明しました
2003-04年度ジョナサン・マジアベ会長が家族の重要性を主眼にした事を称え家族月間と指定した

